



明石市立  
文化博物館

# 文化博物館だより 第302号

2009年11月5日

みなさん、こんにちは。秋季特別展の会期も残すところ、3日となりました。

## ● マジックショー

11月23日(月・祝)に実施される「遊び塾・ぶんぱく」。  
けんだま、ベーゴマ、コマまわし、べったん、わりばしでっぼうなど、懐かしい遊びを幼稚園から小学生のみなさんに楽しんでいただくイベントですが、今回は昭和の薫り漂うマジックショーもあわせて行います。企画展や常設展のご観覧とあわせて、親子でこちらのイベントにもご参加くださいね。



■遊び塾・ぶんぱく 午前10時～午後3時 自由参加 於、体験学習室  
マジックショーは、午前11時～ と午後2時～ の2回開催

## ● 巨匠たちの横顔を知る

10月31日(土)、列品解説が行われました。本展最後のイベントであり、会期終了も間近に迫った週末ということで、大勢の方にご参加いただきました。

印象派以降に展開された様々な運動の中から巨匠と呼ばれるような画家たちが登場しますが、今回の会場に展示されているのは、そんな巨匠たち、ルオー、ピカソ、ヴラマンク、ローランサン、シャガール、キスリング、ユトリロにポーシャンといった画家の作品です。

学芸員は、それぞれの作家のエピソードなどを紹介。ルオーは、作品を何年にもわたって制作したため、裁判を起こして人手に渡った制作途中の作品を取り戻し、晩年にはそれを全て焼いてしまったのだそうです。また、シャガールについては、今回出品されている2点のうち一方に、彼がしばしば登場させるバイオリン弾きが描かれ、もう一方には「MEXICO」という文字とともにギターを弾く人物が描かれていることを指摘し、愛妻家で有名なシャガールが、妻ベラを亡くし、最後に共に訪れたメキシコを描いたものであると説明しました。

実際の作品を前に、様々なエピソードを聞くことで、その作品や画家の存在をより身近に感じていただけたのではないのでしょうか。



ギャラリートークの様子